

オンコタイプDX

乳がん再発スコア[®]プログラムの
検査を受けられる方へ

監修 聖路加国際病院 乳腺外科 部長
吉田 敦 先生



乳がん細胞にはさまざまなタイプがあります

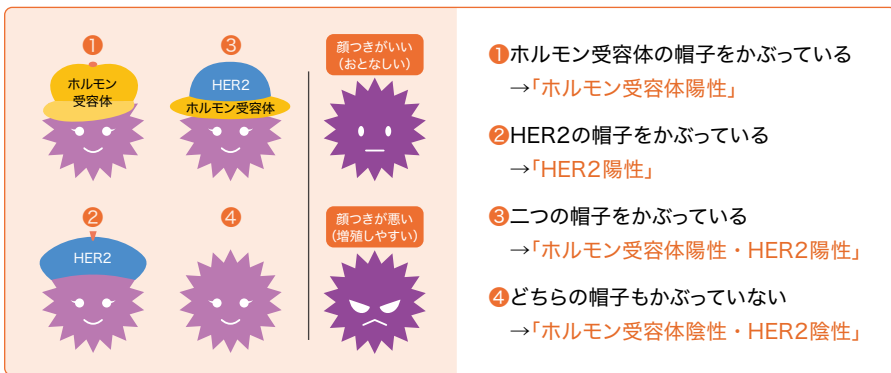
乳がん細胞にはさまざまなタイプがあります(図1)。適切な治療法を選択するには、そのタイプを見分けることが第一歩となります。

目印となるのは、それぞれの乳がん細胞が持つ特殊なタンパク質です。これには、「ホルモン受容体」と「HER2(ハーツー)」という二つがあります。ホルモン受容体にはエストロゲン受容体とプロゲステロン受容体の2種類^{*1}があります。

こうしたタイプ分けがなぜ必要かという、乳がん細胞のタイプによって治療法が異なるからです。タイプ分けに加えて、年齢、がんの大きさ、がんの「悪性度」(おとなしいか、増殖しやすいか)、リンパ節転移^{*2}の有無なども重要です。

これらの情報に基づいて、個々の患者さんにもっとも適した治療法を選択していきます。

図1 乳がん細胞にはさまざまなタイプがある



乳がん細胞は、ホルモン受容体の帽子をかぶった細胞(①)、HER2の帽子をかぶった細胞(②)、ホルモン受容体とHER2の帽子をかぶった細胞(③)、どちらの帽子もかぶっていない細胞(④)に分けられ、さらに顔つきのいい細胞か、そうでないか(悪性度)が診断されます。

*1 エストロゲン受容体(ER)とプロゲステロン受容体(PR)

エストロゲンやプロゲステロンは女性ホルモンの一つで、乳がんにはこれらのホルモンによって増殖するものがあります。

参考情報：国立がん研究センター がん情報サービス 乳がん 治療

*2 リンパ節転移

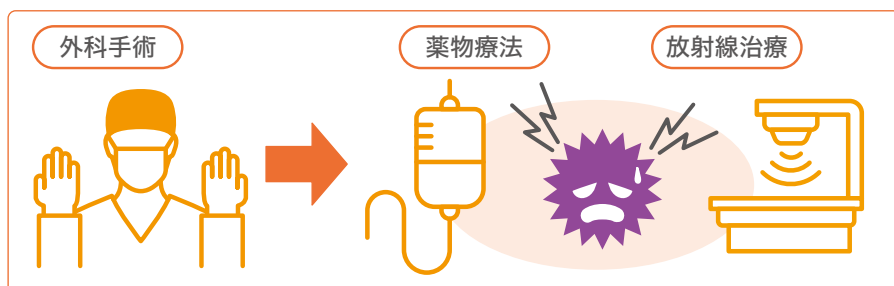
がん細胞がリンパ液の流れによって移動し、リンパ管の中継点であるリンパ節でがん細胞が増殖することです。乳がんの場合、リンパ節転移の有無は、がんの性質や、その後の経過を予測するのに重要な情報となります。

参考情報：国立がん研究センター がん情報サービス 乳がん 乳がんについて

乳がんが再発する可能性と術後補助療法

乳がんは、手術によって局所のがんを取り除いても、全身に目に見えないがんが残っている場合があって、数年後に再発*や遠隔転移をすることがあります。このため、がんが再発や遠隔転移する可能性を少なくする目的で、手術のあとにおこなう治療を術後補助療法といいます。乳がんの術後補助療法では薬物療法と放射線治療がおこなわれます。

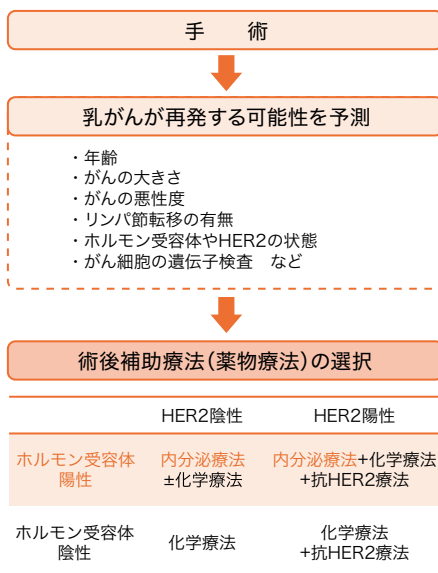
※再発：がんが再び増殖すること



術後補助療法の薬物療法は、年齢やがんの大きさ、がんの悪性度、リンパ節転移の有無、乳がん細胞のタイプ、がん細胞の遺伝子検査などから、乳がんが再発する可能性や薬剤の効果を予測し、どのような治療をおこなっていくかを検討します。

薬物療法には、抗ホルモン剤による「内分泌療法（ホルモン療法）」や抗がん剤による「化学療法」、分子標的薬による「抗HER2療法」があり、単独もしくは組み合わせでおこないます(図2)。

図2 乳がんの術後補助療法(薬物療法)の選択



参考情報：国立がん研究センター がん情報サービス 乳がん 治療

検査を受けることができる患者さん

新たに「早期浸潤性乳がん」※と診断された方で、以下の条件を満たす方です。

- ホルモン受容体陽性
(エストロゲン受容体陽性 かつ/または プロゲステロン受容体陽性)
- HER2 陰性
- リンパ節転移がない、微小転移またはリンパ節転移が1～3個



※ 浸潤性(しんじゅんせい)
がん細胞がまわりの組織にしみ込むように広がっていることをいいます。

検査の流れ

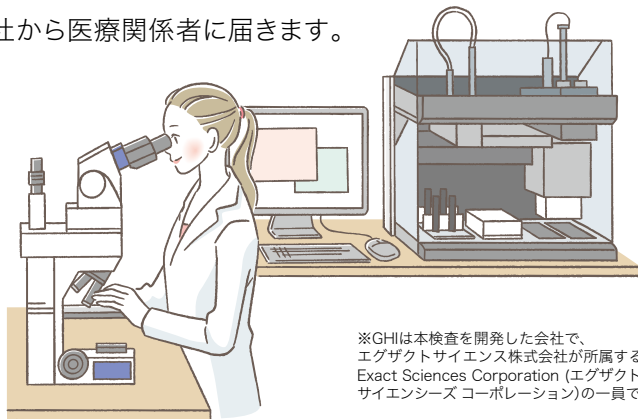
ステップ1 検査の説明

- 検査を受けるには、患者さんの同意が必要です。

主治医から検査の目的や方法、注意点、またあなたの個人情報がどのように使用されるかについての説明を受け、十分に理解した上で、本検査を受けるかどうかを検討してください。

ステップ2 検査

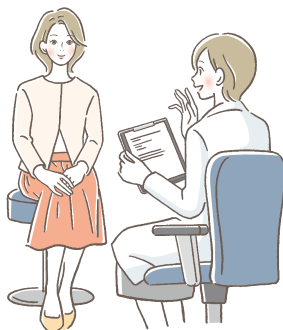
- 手術などで摘出した乳がん組織の検体を米国の Genomic Health, Inc. (GHI※、ジェノミックヘルスイंक) に送り、再発スコア® 結果を算出します。
- 検査結果は検査会社から医療関係者に届きます。



※GHIは本検査を開発した会社で、エグザクトサイエンス株式会社が所属する Exact Sciences Corporation (エグザクトサイエンス コーポレーション) の一員です。

ステップ3 検査結果

- 主治医から検査結果の説明を受け、その後の術後補助療法についてご相談ください。

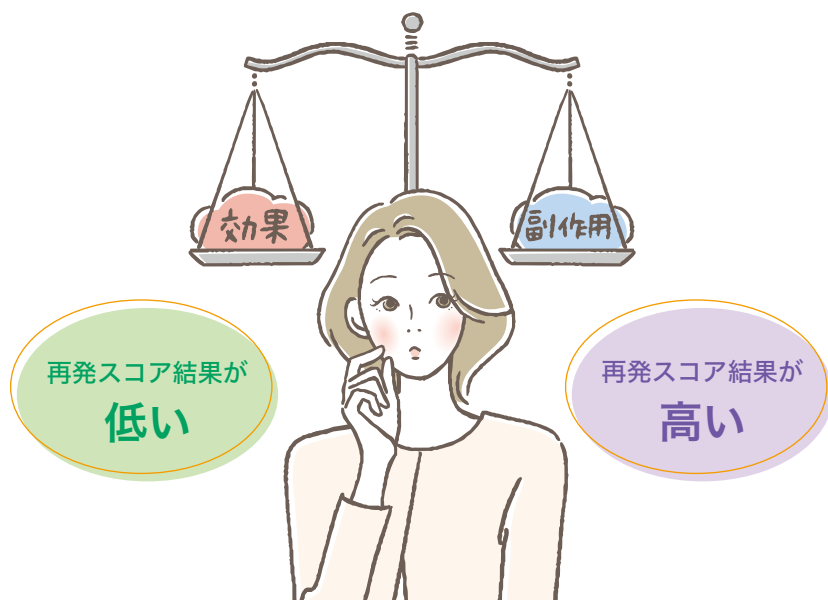


検査結果からわかること

本検査では、患者さんの乳がん組織に含まれる21個の遺伝子の働きを調べることで、再発スコア[®]結果が算出されます。

再発スコア結果とは

- 0から100までの整数で表示されます
- 再発する可能性を予測する指標の一つです
- 術後補助療法に化学療法の上乗せを検討する指標の一つです



乳がんは個々の患者さんによって特徴が異なるため、同じ治療をおこなっても効果や副作用に差が出ることもあります*。

再発スコア結果は、術後補助療法を検討する際に、「内分泌療法」に「化学療法」を追加するかどうかの意思決定の助けになります。

※参考情報：国立がん研究センター がん情報サービス 診断と治療 薬物療法

検査を受ける前にご理解いただきたいこと

検査結果と術後補助療法について

- 再発スコア[®]結果は再発のリスクを提示するものであり、患者さん個人が乳がんの再発をするか否かを予測するものではありません。
- 再発スコア結果は、特定の化学療法剤または化学療法レジメンの有効性を予測するものではありません。
- 術後補助療法の選択については主治医とご相談ください。
- 本検査は検体の状態などによっては、再発スコア結果が得られないことがあります。

個人情報の管理について

本検査は米国のGHIにておこなわれます。本検査を受けるためにGHIへ送る情報は、個人を容易に特定できないよう取り扱います。

また、得られた情報は本検査の品質向上のために使用されることがあります。

詳細に関しては主治医におたずねください。

